

バス事業 安全報告書

< 2009年 >



丹後海陸交通株式会社

平成21年7月31日

丹後海陸交通株式会社 安全報告書(2009)
(バス事業)

平素は丹海バスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

従前より弊社では、経営トップをはじめ全従業員が輸送の安全の重要性を深く認識し、安全最優先の取組みを行ってまいりました。

本報告書は、輸送安全マネジメント制度に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

安全マネジメント体制3年目を迎え、さらなる見直しと継続的改善を図ってまいります。お客様からの声を今後の安全輸送に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

丹後海陸交通株式会社
取締役社長 松下 英秋

1. 基本的な方針 (丹海安全方針)

(1) 「一致協力による安全確保」

全社一致協力して輸送の安全確保に努める。

(2) 「規程の遵守」

安全に関する法令および規程をよく理解・遵守し厳正、忠実に職務を遂行する。

(3) 「状況の理解」

常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。

(4) 「確認の励行」

職務の遂行にあたり推測によらず確認の励行に努め、疑義あるときは最も安全と思われる取扱いをする。

(5) 「人命優先」

事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。

(6) 「情報の透明性」

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

(7) 「改善」

常に問題意識を持ち、輸送の安全にかかる業務上の改善を行わなければならない。

2. 2008年度事故の発生状況とその再発防止措置

自動車事故報告規則第2条の事故発生件数	1件(前年度 1件)
有責事故発生件数	35件(前年度24件)

発生事故は個々に分析し、発生要因を抽出し、担当従事者へ指導するとともに、再発予防に取り組みました。

3. 2009年度輸送の安全に関する安全目標

輸送の安全に関する目標	2008年度	達成目標
(1) 人对車両 対人事故を発生させない。	1件	『撲滅』
(2) 車両相互 車両相互の事故を発生させない。	18件	『50%』
(3) 車両単独 車両単独の事故を発生させない。	16件	『50%』

4. 2009年度輸送の安全に関する重点目標

(1) 高齢者の車内および乗降中の事故の撲滅

高齢者人口が増加する中で、65歳以上の女性は日中にバスを利用する機会が多い。高齢者の行動特性および身体特性を踏まえたご案内と運転操作を徹底する。

(2) 車庫内・駐車場内事故の撲滅

車庫内・駐車場内の構造物や他の駐車車両に対しては、『丹海安全方針』第3項「状況の理解」および第4項「確認の励行」に沿って、安全を確保する。

(3) 走行時の車両故障の減少

車両整備においては、乗務員との連携やメ - カ - の協力により、『丹海安全方針』第6項「情報の透明性を確保」し、第7項「常に問題意識を持ち」取組む。

5. 2009年度輸送の安全に関する教育および計画

(1) 輸送の安全確保の実効性を高めるため、社長をトップとする安全推進会議を開催し、運行管理者(補助者)の資質向上に取組むとともに、乗務員教育の具体的な指導計画を立て、教育を行います。

(2) 新入運転者への教育、特に接客接遇、危険予知、路線地理の把握等必要となる事項について、習熟度の把握を徹底し、安全運転に向けた新任教育を行います。

(3) 外部研修機関、適正診断の活用をします。

(4) ヒヤリ・ハット情報の報告制度により、全従業員で情報の共有を図り、日々の業務に反映させます。

(5) 事故の傾向(曜日、時間等)を分析し、具体的な指導に役立たせます。

6 . 輸送の安全に関する改善方法

2007年度に内部監査体制を確立しました。「安全方針・目標・計画」の取組み状況を定期的にチェックし、安全上の問題点があれば、積極的に改善に取り組めます。

7 . エコ運転の取り組み

環境に配慮したやさしい運転が、事故予防運転につながります。2009年度より順次バス車両にデジタルタコグラフを装備し一層のエコ運転に取り組んで参ります。

(大阪行、京都行は2008年度に全車導入しました。)

8 . 地元の皆さまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声をかたちにしています」

より安全で信頼されるバス運行を行うため、みなさまからお寄せいただいた声を役立てていきます。

2007年度に、「お客さまご意見箱」を全路線バス車両および各窓口に設置し、日々お寄せいただくご意見を公表するとともに、業務に反映させます。

また、本年度においても、バリアフリ - 認定車両ノンステップバス2両(中型)を導入いたしました。今後も計画的に導入いたします。(導入率31%)

(2)「高齢者のお客さま、バスの乗り降りにご注意ください。」

降車の時、必ずバスが止まってから席をお立ちください。また、バスの乗り降りには、十分足元に注意してください。

9 . ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先

丹後海陸交通株式会社 営業部 営業企画課

京都府与謝郡与謝野町字上山田 641 番地 1

TEL 0772 42 0323

FAX 0772 42 0349

E-mail webmaster@tankai.jp